

7 今後の取り組み

中間評価の結果、「既に目標を達成している（A判定）」及び「順調に進捗している（B判定）」「やや進捗が遅れているが進捗している（C判定）」を含めると数値目標の約7割が計画策定時と比べ改善しているものの、「進捗していないか後退している（D判定）」項目が約3割あります。計画の最終年度である平成34年度に向けて、これらの項目を今後、改善すべき課題と捉え、「Ⅱ 基本的方向別の評価と課題」で掲げた対策を重点的に取り組んでいく必要があります。併せて、順調に改善されている項目についても、引き続き、維持・向上を目指すために、本県の健康寿命の長い要因分析から得られた強みを意識しながら、子どもから高齢者に至るまで、全ての世代、県民の生涯を通じた健康づくりの取り組みを推進することで、健康寿命の延伸を推進します。

また、保健医療データ等の情報提供ややまなし健康寿命延伸プロジェクト支援事業を通し、市町村の健康格差対策への取り組みを支援します。